

（件名）シンガポールの JR カフェでひがし北海道観光をPR

■はじめに

道東の観光関係者がシンガポールで実施した観光プロモーション「ひがし北海道ファンの集い in Japan rail cafe」に参加しましたので、概要を以下ご報告します。

○ 「ひがし北海道ファンの集い in Japan rail cafe」について

日 時：8月26日(土)、27日(日)の2日間で、計6回のプロモーションを実施

会 場：Japan rail cafe (JR 東日本が運営し、日本の自治体が各種イベント会場として利用)

主 催：一般社団法人ひがし北海道自然美への道 DMO ほか

道内参画団体：ひがし北海道自然美への道 DMO、鶴雅リゾート、紋別プリンスホテル、北こぶし知床ホテル&リゾート、釧路市、網走市、帯広市、紋別市、北海道観光振興機構道東分科会

概 要：道東観光のプレゼン、豚丼等の道東グルメの提供、ラッキードローイベントなどの実施、JNTO のネットワークを活用して参加者を事前登録制で募集。

■イベントのポイント

- ・熱い思いの詰まったプレゼン、伝える軽妙な話術

道東の観光関係者が一堂に会してのプロモーション、プレゼンにも力が入ります。DMO の野竹専務理事作成のパワポ資料は実に 100 スライド超の大作。内容も観光名所やグルメ、アクティビティの紹介から圏域の交通手段の説明、さらには環境保護の取組まで多岐にわたります。

プレゼンターは鶴雅リゾート(株)営業部で海外事業担当を務める高田副部長。同氏の軽妙な話術に来場客は引き込まれ、ひがし北海道のディープな魅力を堪能していました。

- ・ご当地グルメで食を PR

十勝豚丼をはじめとするご当地グルメが振る舞われ、来場客はプレゼンを聞きながら舌鼓を打っていました。北海道観光の魅力は食にあり、お客様の胃袋を掴むのが肝要です。

- ・各エリアの代表が参加者からの問い合わせに対応

プレゼン終了後来場客からは道東観光について質問が相次ぎ、北海道からの参加者が答えました。地元の人だからこそ伝えられる地域の魅力に来場客も満足していました。

■今後に向けて

通常海外での観光プロモーションでは、現地旅行会社を対象とした BtoB の取組が主流ですが、今回は一般人向けの BtoC の仕立てでした。DMO の分析によれば、シンガポールは ASEAN 各国の中でも①羽田からの経路で直接道東を訪れる割合が高い、②人気観光資源（例：屈斜路雲海、羅臼クルーズ）が道東に集中、という特性があり、道東の認知度が高いと言えます。このことから顧客に直接プロモートすることに踏み切って良い市場と判断され、今回のイベントが実施されました。当事務所としても道東含め本道の幅広い地域の魅力発信に引き続き取り組んでまいります。

■当日の様子



道東観光のプレゼン



来場客の質問に答える参加者



報告者冒頭挨拶